

公益社団法人 宮城県生活環境事業協会



会報

No. 33

令和8年1月15日



発行 ◆ 公益社団法人 宮城県生活環境事業協会
〒983-0035 仙台市宮城野区日の出町2-5-15

[事務局（総務部）]

TEL (022) 783-8070 FAX (022) 231-2779

E-mail: soumubu@m-seikatsukankyo.or.jp

[浄化槽法定検査センター（検査部・水質分析部）]

TEL (022) 231-2755 FAX (022) 236-2715

E-mail: kensabu@m-seikatsukankyo.or.jp

ホームページ <http://www.m-seikatsukankyo.or.jp>

Contents

—主な内容—

新年を迎えて —————	3	令和7年度上半期の法定検査結果について —	19
更なる変革を目指す年に —————	4	・法定検査の検査実施状況および判定状況	
		・不適正の事例内訳	
地区連絡協議会会長新年のごあいさつ —	5	特集 —————	22
役員新年のごあいさつ —————	8	・浄化槽法定検査判定ガイドラインについて	
受賞のおよろこび		〈第2回〉	
協会の動き 7月から12月まで —————	9	特定既存単独処理浄化槽への対応について —	27
報告 —————	12	浄化槽設備士研修会（宮城会場）—————	28
・第39回全国浄化槽大会		開催のご案内	
・第38回全国浄化槽技術研究集会		会員情報 —————	29
・令和7年度一般廃棄物適正処理推進大会		今後の行事予定 —————	29
in 奈良		新職員のご紹介 —————	30
浄化槽部会管理士研修会を開催 —————	14	当協会職員が「宮城県芸術祭賞」—————	30
浄化槽管理士研修会を開催 —————	16	を受賞	
浄化槽清掃技術研修会を開催 —————	16		
EVパッカー車の導入について —————	17	表紙写真：仙台の冬の風物詩となった「SENDAI光のページェント」	
		の中を走る「るーぷる仙台」（仙台市中心部の観光スポ	
		ットを結ぶ循環バス）【写真提供：宮城県観光戦略課】	

環境機器 & 環境車輛



湯浅建機株式会社

〒985-0842 宮城県多賀城市桜木二丁目2-6

TEL (022) 362-3830

FAX (022) 362-8182

新年を迎えて

公益社団法人 宮城県生活環境事業協会

会 長 鈴 木 文 夫



明けましておめでとうございます

令和8年の年頭にあたり、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

会員をはじめ関係する皆さまには、日ごろより当協会の事業推進に格別のご支援・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年10月、高市早苗氏が内閣総理大臣に選出され、わが国初の女性総理が誕生しました。「ガラスの天井」が破られた意義は大きいと報じられましたが、一方で女性閣僚や女性議員の割合はまだ大きくありません。政治の世界のみならず、社会全体で女性活躍の推進が叫ばれ、法制度等の環境は整備されてきていますが、諸外国の高いレベルに追いつくにはもう少し時間がかかりそうです。私どもの一般廃棄物・浄化槽業界もまだまだ男性中心のイメージが強く、今後はより一層安心して働ける職場環境を整え、女性も活躍できる業界にしていくことを考えなければならないと思います。

さて、昨年公表された令和6年度末の全国の污水处理施設の処理人口は1億1,613万人であり、これを総人口に対する割合でみた污水处理人口普及率は93.7%となっています。処理人口を処理施設別にみると、下水道によるものが1億1,400万人（総人口に対する普及率81.8%）、浄化槽によるものが1,175万人（同9.5%）、農業集落排水施設等によるものが283万人（同2.3%）と続いています。当県の污水处理人口は2,081千人、污水处理人口普及率は93.9%（全国17位）となっており、このうち浄化槽処理人口は157千人、浄化槽処理人口普及率は7.1%となっています。

これまで中心となっていた下水道施設整備は、人口減少や自治体の厳しい財政状況等を踏まえての計画見直しが大き流れになっており、一昨年の能登半島地震や昨年の八潮市の道路陥没事故の発生等も契機となり、下水道インフラに対する関心が高まっています。浄化槽の優位性が取り上げられる機会も多くなっており、今こそ社会的要請に答え、合併処理浄化槽の普及促進や適正な維持管理において、ますます我々がその役割を果たしていかなければならないと思います。

近年、大きな地震が頻発しており、昨年は7月に発生したカムチャツカ地震において津波警報が、12月の青森県東方沖地震では津波注意報が当県にも発令され、また、12月の地震の後には「後発地震注意情報」も発表される等、緊張が走りました。幸いにして大きな人的被害はありませんでしたが、北海道から三陸沖にかけての大規模地震が発生する可能性が高まっていることは間違いのないように思われます。

既にお知らせしておりますように、当協会と宮城県で締結しておりました「災害時における下水・し尿・浄化槽汚泥及び災害廃棄物の撤去等に関する協定」を昨年6月に改訂いたしました。これに伴い先般、当協会の「災害時の応援協力実施マニュアル」も改正いたしました。このマニュアルに新たに盛り込まれた協会による「緊急通行車両」の登録については、現在、申請をいただいた会員の皆さまの車両を宮城県警へ登録すべく手続きを進めております。手続きの終了を急ぐことはもちろん、さまざまな準備、対策を考えてまいりますが、会員の皆さまにおいてもしっかりとした備えをお願いしたいと思います。

続いているエネルギー価格や原材料費の高騰、為替レートの変動等による物価の高騰、日中関係の悪化や年明け早々のアメリカによるベネズエラ攻撃で新たな要素も加わった不安定な国際情勢など、厳しい1年になることが予想されますが、新しい年が皆さまにとって良い1年になることをご祈念申し上げますとともに、当協会への引き続きのご支援ご協力をお願い申し上げ、新年のご挨拶といたします。

更なる変革を目指す年に

宮城県知事 村 井 嘉 浩



明けましておめでとうございます。新しい年を迎えるに当たり、県民の皆様の御健勝と御多幸を心からお祈り申し上げます。

貴協会におかれましては、日頃より浄化槽の普及や適正管理及び一般廃棄物の適正処理に資する事業に御尽力され、本県的生活環境の維持や公衆衛生の向上に大きく貢献いただいておりますことに対し、心から感謝申し上げます。

昨秋に行われた知事選挙の結果、引き続き県政運営を担わせていただくことになりました。6期目という県政史上初めてとなる重責を前に身の引き締まる思いを新たにしたところであり、謙虚な気持ちを忘れず、これまで以上に現場に足を運んで、県民の皆様との対話を重ねながら、様々な課題の解決に全力でまい進する所存であります。

昨年は、第48回全国育樹祭や第61回献血運動推進全国大会が本県で開催され、秋篠宮皇嗣同妃両殿下に御臨席を賜りました。若い世代の皆様が、森を守り育てる取組や命を支える活動に関心を持ち、積極的に関わる姿は未来への大きな希望であり、これらの大会を通して、東日本大震災からまもなく15年となる宮城の姿を広く発信することができました。今後も被災地の実情に応じたきめ細かなサポートを継続し、全ての県民の皆様に復興を実感していただけるよう、しっかりと取り組んでまいります。

さて、本県はこれから本格的な人口減少の局面を迎える中、地域経済・社会の持続性を確保し、更なる変革を進めていくことが求められています。こうした大きな課題に向き合いながら、大規模化・多様化する自然災害への備えや依然として続く物価高騰にも対応していくため、「新・宮城の将来ビジョン」に掲げる「宮城の将来像」実現に向けた取組を着実に推進してまいります。

誰もが希望を持ち、安心して暮らせる、活力にあふれた新しい宮城を創造していくことを目指し、今年は「人口減少対策」に重点的に取り組んでまいります。特に、首都圏への流出が続く若者や女性から選ばれる、魅力ある地域・職場づくりを進めるとともに、子ども・子育てを社会全体で支える環境の整備、半導体などの産業誘致による質の高い雇用創出を推進いたします。また、労働力人口が減少する中でも、産業や行政サービスを維持向上させていくには、DX（デジタル・トランスフォーメーション）の活用が不可欠であり、さまざまな分野でデジタル技術の活用を進め、人手不足の解消と生産性向上を力強く後押ししてまいります。

未来へと続く持続可能な宮城県を築き上げるため、全身全霊を傾けて取り組んでまいりますので、一層の御理解と御協力をお願い申し上げます。

地区連絡協議会会長 新年のごあいさつ

仙台地区連絡協議会 会長 鈴木 伸彌

新年おめでとうございます。

令和8年の年頭にあたり、謹んでご挨拶を申し上げます。

昨年は、高市早苗氏が我が国初の女性総理大臣に就任され、その力強い言葉が流行語大賞に選ばれるなど、社会に新たな動きが見られました。一方で、記録的猛暑や燃料費・電気代の高騰、生活必需品の価格上昇など物価高が続く、企業や暮らしに影響を及ぼしています。また、国際情勢の不安定さも加わり、業界環境は厳しさを増しています。

こうした中、浄化槽業界は生活環境を支える役割を堅持しつつ、デジタル技術の活用や遠隔監視、災害対応力強化などに取り組んでいます。本年も環境保全と地域の安心を守る原点を大切に、普及促進、技術力向上、人材育成を進め、持続可能な社会づくりに貢献してまいります。

結びに、会員の皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

石巻地区連絡協議会 会長 色川 雅夫

明けましておめでとうございます。

令和8年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

さて、昨年は夏の猛暑に加え、冬に入るとすぐにインフルエンザが猛威をふるい、春と秋がなくなってしまった近年の季節感も含め、地球環境の変化に振り回された1年でした。

これに加えて、近年の物価高騰が続く厳しい環境の中ではありますが、地域に貢献できる体制を構築し、より一層自然環境を守る団体としてアピールを続け、自治体の皆さまと共に活動していきたいと思っております。

また、自然災害が頻繁に発生している昨今の状況から、対応策や応援体制の見直しを図りながらBCPを再構築し、会員の皆様の安全を確保していきたいと思っています。

厳しい環境の中ではありますが、会員の皆様のご健康とご多幸、重ねてご発展を心からお祈り申し上げます。

気仙沼・南三陸地区連絡協議会 会長 佐々木 安人

新年あけましておめでとうございます。

令和8年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

会員の皆様におかれましては、希望に満ちた新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年の流行語大賞は、高市総理大臣の「働いて、働いて、働いて、働いて、働いてまいります。」に決定されたことは皆さんご承知のことと思います。私見ですが、昭和の時代ならまだしも令和の時代にはどうなのかと感じました。

また、昨年の漢字が「熊」になったように、日本各地で熊による被害が相次ぎ世間を騒がしました。私も昨年岩手方面に行ったときに1日に2回遭遇したことがありました。温暖化の影響による海水温の上昇により、魚の生息域や漁獲量もだいぶ変わってきているようですし、このような状況がこれから毎年続くのかとは思いますが、今年は平穏無事な年になることを願っております。

結びに今年も会員各社におかれましては、無事故、無災害で1年を過ごして頂きたいと念願しております。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

県南地区連絡協議会 会長 佐久間 雅代

新年あけましておめでとうございます。

令和8年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

会員の皆様方には、お健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、大阪・関西万博の開催、高市早苗氏が女性初の首相に就任しました。その他にも坂口志文氏らのノーベル賞受賞、大谷選手の活躍等、輝かしく明るいニュースがありました。しかしその反面、酷暑の夏、米価格高騰、眠らない熊、12月の八戸地震、折しも宮城県との災害協力の改訂をしたところであり、あまりのタイミングに背筋が凍る思いでした。

今年も様々な出来事があるかと思います。嬉しい出来事が一番ですが、災害や困難なときも会員の皆様と共に、働いて、働いて、働いて乗り越えていきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

県北地区連絡協議会 会長 清野 卓

新年あけましておめでとうございます。

令和8年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

皆様方にはお健やかに新年を迎えられましたこととお慶び申し上げますと共に、平素より協議会の活動に対しまして格別のご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

近年、自然災害が頻発・激甚化する中、廃棄物処理事業者は平時のみならず災害発生時においても、地域の安全で快適な生活環境を支える重要な社会インフラであります。本年も日頃からの訓練や体制強化を継続して、災害時を含めた業務体制を整えておき、備えは万全に法令遵守の徹底、安全を最優先に確実に誠実な業務運営に努めていただきたいと思います。

最後に、本年も変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。本年が皆様にとって健康で幸福な年となります事を心より祈念致しまして、新年の挨拶と致します。

大崎地区連絡協議会 会長 佐藤 政志

新年明けましておめでとうございます。

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年はエネルギー資源、コメ、食品、電力等々、私たちの生活にかかわるほぼすべてのものが高騰、高止まりするという厳しい環境が続く中、地区会員の皆様には地区研修会ならびに親睦活動に多大なご協力をいただきありがとうございました。

昨年のお阪万博の開催、初の女性総理大臣の誕生などを本年に向けての明るい材料ととらえ、令和8年は経済安定の年となる事を願いつつ、本年も会員の皆様のご協力をいただき、各種研修会の開催や親睦活動等を通じて生活環境事業協会の更なる発展に努めていきたいと思っています。

結びに、会員の皆様の社業繁栄、ご多幸とご健勝をご祈念申し上げ新年の挨拶とさせていただきます。

塩釜地区連絡協議会 会長 鈴木 文夫

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は、当地区協議会の活動に温かいご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

昨年は、各地で自然災害が続き、地域の暮らしを支える私たちの仕事の大切さを改めて感じる一年となりました。被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早く穏やかな日常が戻ることを願っております。

また、浄化槽に関する検査方式の見直しが進み、変化への対応が求められる場面も多くありました。そんな中でも、会員の皆様が日々の業務に真摯に取り組み、地域の衛生環境を守り続けてくださっていることに、改めて深く感謝しております。

本年も、安心して暮らせる地域づくりのために、皆様と力を合わせながら取り組んでまいりたいと思います。どうぞ変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げます。

皆様にとって、健やかで明るい一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

地球のために、次世代のために、美しい環境づくりに貢献したい。
兼松エンジニアリングはそんな機械をお客様に提供し続けます。



コンセプトカー
EV 吸引作業車
ETM-03BVP



兼松エンジニアリング株式会社
KANEMATSU ENGINEERING CO.,LTD.

住 所 〒781-5101 高知県高知市布師田 3981 番地 7
TEL 088-845-5511 FAX 088-845-8844
HPアドレス <http://www.kanematsu-eng.jp/>
E-mail eigyo@kanematsu-eng.jp

高圧洗浄車
JS-02W1518K(S)



～ご用命は東北・北海道支店まで～
TEL 022-248-2991 FAX 022-248-2995

おかげさまで創業115年。
これまでも、これからも
まごころ込めて作ります。

(株) 白 謙 か ま ぼ こ 店

〒986-0824
宮城県石巻市立町2-4-29

☎ 0120-20-1842

<http://www.shiraken.co.jp>
白 謙 検 査



役員一同、新年のご挨拶を申し上げます

会 長 鈴木 文夫 協業組合塩釜清掃センター
副 会 長 佐藤 清和 有限会社日本清掃総業
副 会 長 佐藤 政志 協業組合アクアネット
副 会 長 鈴木 伸彌 鈴木工業株式会社
専務理事 阿部 孝雄 公益社団法人宮城県生活環境事業協会



理 事

永井 秀昭	三益工業株式会社	渡辺 光造	株式会社渡辺店
角張 孝則	有限会社仙台福祉清掃社	佐久間雅代	株式会社エイスイ工業
高橋 俊弘	株式会社フジクリーンテクノサービス	鴫 郁子	有限会社黒川浄化槽管理センター
色川 雅夫	協業組合石巻浄化槽管理センター	菊池 伸之	有限会社矢本第一衛生
千田 信良	有限会社千田清掃	佐々木安人	有限会社佐々木設備工業
芳賀 浩	気仙沼清掃事業協業組合	清野 卓	有限会社きよの清掃センター
堀越 俊	協業組合アクアテック栗原		

監 事

齋藤 裕司 株式会社宮城電気サービス 阿部 浩二 インテック株式会社



次の皆さまが、廃棄物処理事業や浄化槽事業に貢献された功績により、受賞の栄に浴されました。ここからお慶びを申し上げますとともに、今後ますますのご活躍をお祈り申し上げます。

◎ 環境省環境再生・資源循環局長表彰

千田 信良 様

(有限会社千田清掃 代表取締役)

令和7年10月1日開催の「第39回全国浄化槽大会」
において表彰状が授与されました。



◎ 一般社団法人日本環境保全協会 会長表彰

○ 功労会員表彰

佐藤 清和 様

(有限会社日本清掃総業 代表取締役)

令和7年11月13日開催の「令和7年度一般廃棄物
適正処理推進大会 in 奈良」において表彰状が授与
されました。



○ 優良事業従事者表彰 (特A)

三浦 孝子 様 (協業組合石巻浄化槽管理センター)

○ 優良事業従事者表彰 (A)

上野 和弘 様 (協業組合県北清掃公社)

～ 皆さま、おめでとうございます ～

協会の動き（7月から12月まで）

7月

3日（一社）日本環境保全協会北海道・東北ブロック協議会：第31回通常総会、懇親会
北海道：OMO7旭川

任期満了に伴う役員改選において、当協会の鈴木文夫会長が協議会会長に選任されました。



10日 釜房ダム貯水池湖沼水質保全対策推進協議会：令和7年度総会 川崎町：川崎町公民館

13日（公財）日本環境整備教育センター：浄化槽設備士試験 仙台市：ショーケー本館ビル

23日 全国公益法人協会：東北地区定例講座 仙台市：仙都会館

24日 令和7年度第1回浄化槽部会 当所会議室

議題 ①浄化槽部会管理士研修会について ②「浄化槽のストップ施工ミス」のチラシについて ③小型合併処理浄化槽の型式別水質悪化時の対応マニュアルについて ④最近の浄化槽行政の動向について ⑤その他（出席者：佐藤政志担当副会長、部会員15名、委任状出席8名 計23名）



25日 大崎地区連絡協議会：令和7年度研修会 大崎市：大崎生涯学習センター

当センター職員から、前年度の検査結果や検査センターで作成中の型式別水質悪化時の対応マニュアル、浄化槽の微生物等についてお話しさせていただきました。（出席者：佐藤政志地区連絡協議会長、会員7事業所44名）



28日（一社）日本環境保全協会：第3回災害廃棄物対策推進委員会 東京都：KKRホテル東京 リモート会議

29日（公財）日本環境整備教育センター：浄化槽管理士講習考査 仙台市：ショーケー本館ビル

8月

7日（一社）全国浄化槽団体連合会：2025年度水環境保全助成事業審査委員会 リモート会議

9日 NPO法人環境生態工学研究所：定例幹事会 仙台市：NPO法人環境生態工学研究所

19日 全国公益法人協会：東北地区定例講座 仙台市：仙都会館

22日 令和7年度第1回青年部会 石巻市：割烹小松

議題 ①「災害時における下水・し尿・浄化槽汚泥及び災害廃棄物の撤去等に関する協定書」の改訂について ②「災害時における下水・し尿・浄化槽汚泥及び災害廃棄物の撤去等に関する応援協力の実施マニュアル」の改正（案）について ③今後の部会の進め方等について ④その他（出席者：鈴木伸彌担当副会長、部会員11名、委任状出席5名、佐藤清和一般廃棄物部会担当副会長、計17名）

22日（公財）大分県環境管理協会からの視察 当所会議室

9月

6日 環境省：令和7年度災害対策推進シンポジウム オンライン傍聴

10日 令和7年度第1回浄化槽部会管理士研修会 気仙沼市：ゲストハウスアーバン（14ページに掲載）

11日 令和7年度第2回浄化槽部会管理士研修会 当所会議室（14ページに掲載）

12日（公財）廃棄物・3R研究財団：第1回資源循環自治体フォーラム オンライン傍聴

13日 NPO法人環境生態工学研究所：定例幹事会 仙台市：NPO法人環境生態工学研究所

16日 令和7年度臨時三役会 当所役員室 審議事項 ①今後の協会運営等について ②その他

19日 仙台東地区安全運転管理者会：秋の交通安全市民総ぐるみ運動出発式・街頭キャンペーン 仙台市：YAMADA web.com 仙台センター店他

24日 日本年金機構、仙台東年金事務所：職域型年金委員研修会 オンライン傍聴

24日 仙台東地区安全運転管理者事業主会：レベルアップ体験型安全運転研修会 仙台市：東部自動車学校

29日 経済産業省：下請法・下請振興法改正法の概要に関する説明会 オンライン傍聴

10月

- 1 日 「浄化槽の日」実行委員会：第39回全国浄化槽大会 記念式典、記念講演、懇親会
東京都：ホテルグランドヒル市ヶ谷 (12ページに掲載)
- 4 日 仙台市下水道フェア実行委員会：2025 仙台市下水道フェア 仙台市：西公園
当協会のブースでは、ミニチュアモデルの浄化槽を使った展示を行い、顕微鏡と動画により浄化槽内の微生物を見ていただきました。また、今回は企画の目玉として東北工業大学の北條 准教授と学生の皆さんのご協力の下、微生物イラストを使った缶バッジをその場で作成し配布したところ、とても好評でした。今年は天候に恵まれたこともあって、たくさんの方に来場いただき、浄化槽に触れていただくことができました。



- 6 日 (公財)日本環境整備教育センター：浄化槽管理士講習考査 東京都：(公財)日本環境整備教育センター
- 7 日 令和7年度第1回一般廃棄物部会 当所会議室
議題 ①「災害時における下水・し尿・浄化槽汚泥及び災害廃棄物の撤去等に関する協定書」の改訂について ②「災害時における下水・し尿・浄化槽汚泥及び災害廃棄物の撤去等に関する応援協力の実施マニュアル」の改正(案)について ③し尿くみ取り料金の改正状況について ④その他(出席者：佐藤清和担当副会長、部会員8名、委任状出席11名、代理出席1名、計21名)



- 9 日 (一社)日本環境保全協会：第41回正副会長会議 オンライン会議
- 9 日 (一財)宮城県社会保険協会：令和7年度年金シニアライフセミナー 仙台市：ホテル白萩
- 15日～16日 (公財)日本環境整備教育センター：第39回全国浄化槽技術研究集会 茨城

県：水戸市民会館(12ページに掲載)

- 16日 (公財)宮城県環境事業公社：令和7年度環境セミナー 仙台市：イズミティ21
- 16日～17日・24日 (株)安全教育センター：酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習
仙台市：エスポールみやぎ
- 21日 全国公益法人協会：東北地区定例講座
仙台市：仙都会館
- 26日 (公財)日本環境整備教育センター：浄化槽管理士試験 仙台市：ショーケー本館ビル
- 28日 厚生労働省職業安定局：事業主のためのハローワーク活用セミナー 仙台市：ハローワーク仙台
- 31日 中間監査 当所役員室

11月

- 4 日 (一社)全国浄化槽団体連合会：2025年第1回事業委員会 リモート会議
- 5 日 (一社)全国浄化槽団体連合会：令和7年度設備士研修会開催打合せ リモート会議
- 5 日 令和7年度第1回浄化槽管理士研修会
仙台市：ホテルクレセント(16ページに掲載)
- 6 日 令和7年度第2回浄化槽管理士研修会
大崎市：古川商工会議所(16ページに掲載)
- 7 日 宮城県公安委員会：安全運転管理者・副安全運転管理者講習 利府町：利府町文化交流センター
- 8 日 NPO法人環境生態工学研究所：定例幹事会 リモート会議
- 10日 宮城県警察本部、(一社)宮城県安全運転管理者協会：安全運転管理者表彰式 仙台市：夢メッセみやぎ
- 11日 令和7年度浄化槽法定検査委員会 当所会議室
審議事項 ①特定既存単独処理浄化槽に対する措置に関する指針の改定に伴う対応について ②第11条検査における新たな効率化検査の導入結果について 報告事項 ①令和6年度浄化槽法定検査結果について ②令和7年度に新たに追加した不適正事例について(出席者：委員10名、随員1名、計11名)



- 13日 (一社)日本環境保全協会：令和7年度一般廃棄物適正処理推進大会in奈良 奈良県：ホテル日航奈良(12ページに掲載)
- 13日 全国公益法人協会：東北地区定例講座
仙台市：仙都会館
- 14日 (公財)日本環境整備教育センター：第

168回実務セミナー オンライン傍聴
 18日 令和7年度第2回三役会 当所役員室
 審議事項 ①令和7年度第2回定期理事会に
 付議すべき議案について ②今後の協会運営
 等について ③その他



21日 令和7年度浄化槽清掃技術研修会 石巻
 市：(協業)石巻浄化槽管理センター(16ペー
 ジに掲載)
 21日 (公財)宮城県公害衛生検査センター：令
 和7年度公衛検セミナー 仙台市：TKPガ
 ーデンシティPREMIUM仙台西口
 21日 第3回浄化槽指定検査機関情報交換会、
 懇親会 福島県：コラッセふくしま
 26日 浄化槽推進議員連盟総会、浄化槽整備推
 進議員懇話会総会 東京都：ザ・キャピトル
 ホテル東急、参議院議員会館
 27日 令和7年度第2回定期理事会 当所会議
 室 審議事項 ①令和7年度中間事業報告及び
 中間収支決算について ②令和7年度第一次補
 正予算について 報告事項 ①代表理事及び業
 務執行理事の職務執行状況について ②令和7
 年度(一社)日本環境保全協会会長表彰受賞者
 について ③公益法人制度改革に伴う外部理
 事及び外部監事候補者の選考について ④常

務理事の設置について ⑤浄化槽法定検査委
 員会委員(学識経験者)の選考について ⑥各部
 会及び浄化槽法定検査委員会の開催状況につ
 いて ⑦災害時における下水・し尿・浄化槽
 汚泥及び災害廃棄物の撤去等に関する協定書
 の改訂及び応援協力の実施マニュアルについ
 て



12月

2日 全国公益法人協会：令和6年会計基準セミ
 ナー 仙台市：仙都会館
 4日 日本年金機構、仙台東地域代表年金事務
 所、仙台国税局：職域型年金委員研修会 オ
 ンライン傍聴
 8日 令和7年度第1回交通安全委員会 当所
 会議室
 10日～12日 (公財)日本環境整備教育センター
 ：浄化槽技術管理者講習会(第33回宮城会
 場) 仙台市：ホテルクレセント
 13日 NPO法人環境生態工学研究所：定例
 幹事会 仙台市：NPO法人環境生態工学
 研究所

日新火災海上保険株式会社（東京海上グループ）代理店

自動車保険・火災保険・労災傷害保険・賠償責任保険

合同会社 佐藤保険事務所

〒985-0071 塩釜市松陽台3-13-10 TEL:022-366-2451

「浄化槽の日」 第39回全国浄化槽大会

令和7年10月1日(水)、東京都新宿区のホテルグランドヒル市ヶ谷において、「浄化槽の日」を記念する第39回全国浄化槽大会が開催され、鈴木 文夫 会長のほか職員2名が出席しました。

はじめに、(一社)全国浄化槽団体連合会の上田 勝朗 会長が実行委員会幹事団体を代表して挨拶。環境省、国土交通省からの挨拶に続いて、(一社)浄化槽システム協会の小川和久 会長が「浄化槽適正整備推進決議(案)」を読み上げ、単独処理浄化槽の合併処理浄化槽への転換の積極的な推進及び緊急性の高い老朽化した浄化槽の転換の推進等の8項目が採択されました。

続いて、浄化槽関係功労者に対する表彰状の贈呈が行われ、当協会の千田 信良 理事((有)千田清掃 代表取締役)が環境省環境再生・資源循環局長表彰を受賞しました。(8ページに掲載)

その後、特定非営利活動法人日本トイレ研究所 代表理事の加藤 篤 氏が「災害時のトイレ問題と対策～能登半島地震の教訓を備えにいかす～」と題し記念講演を行い大会は終了。引き続き午後5時から、多くの関係者が参加しての懇親会が開催されました。



第39回全国浄化槽技術研究集会

公益財団法人日本環境整備教育センター(由田 秀人 理事長)は、令和7年10月15日(水)・16日(木)の2日間にわたって、茨城県水戸市の「水戸市民会館」を会場に「第39回全国浄化槽技術研究集会」を開催し、当協会から手戸所長のほか職員3名が出席しました。

初日の『式典』では、由田 理事長の主催者挨拶、来賓挨拶の後、浄化槽関係事業功労者表彰や、浄化槽研究奨励・楠本賞の贈呈が行われ、続いて、落語家の笑福亭 茶光 氏により「浄化槽に関する新作落語」が披露されました。

その後、2会場に分かれての『研究発表会』に続いて多数の関係者を集めての『懇親会』が、翌日は『浄化槽行政担当者研究会』、『浄化槽検査員研究会』が開催されました。



令和7年度一般廃棄物適正処理推進大会 in 奈良

一般社団法人日本環境保全協会(山条 忠文 会長)は、令和7年11月13日(木)に奈良県奈良市のホテル日航奈良において令和7年度一般廃棄物適正処理推進大会 in 奈良を開催し、当協会からは鈴木文夫 会長をはじめとする役職員7名が出席しました。山条 会長の開会挨拶、開催地団体である一般社団法人奈良県環境保全協会の山本 佳彦 理事長の挨拶に続き会長表彰の表彰式が行われ、当協会の

佐藤 清和 副会長（（有）日本清掃総業 代表取締役）が功
労会員表彰を、地区連絡協議会から推薦のあった会員事業
所の2名の方が優良事業従事者表彰をそれぞれ受賞しまし
た。（8ページに掲載）

その後、一般廃棄物処理業に係る動向と対策についての
事業報告が行なわれ、続いて大会決議が満場一致で採択さ
れました。特別講演では「廃棄物・リサイクル行政の最近
の動向について」と題し環境省環境再生・資源循環局 廃棄
物適正処理推進課長の杉本 留三 氏が講演を行いました。



HIBLOW®

Ultimate Pneumatic Solutions Worldwide

テクノ高槻はエアポンプで 地球の未来をささえます

世界 70 ヶ国以上の
国々での採用実績

浄化槽メーカー各社の
設置ポンプに対応

充実したサービス体制で
安心のアフターフォロー

**HIBLOW
グループ**

HIBLOW USA INC.
HIBLOW FRANCE S.A.S
HIBLOW EUROPE S.L.

HIBLOW AUSTRALIA PTY LTD
HIBLOW GREINWORTH CO., LTD. (CHINA)

**株式会社
テクノ高槻**

〒569-1013
大阪府高槻市成合南の町 8 番 2 号
TEL.072-647-1100 FAX.072-688-0005

「浄化槽部会管理士研修会」を開催しました

当協会の浄化槽部会では、浄化槽管理士の皆さまの日ごろの業務に直結する知識を習得していただくことを目的に、浄化槽部会管理士研修会を毎年開催しています。

6回目となる今回は、事前のアンケート調査で要望が多かった「ブロワの構造とメンテナンス」について、テーマごとに3つのテーブルに分け、実機等を用いた実務的な内容を中心とした研修を行いました。

現場でのトラブルシューティングの他、ブロワ関連の商品の紹介もあり、参加された皆さまから参考になったとの声を多くいただきました。

来年度も開催を予定しておりますので、ぜひご参加ください。

令和7年度第1回 日 時：令和7年9月10日(水) 午後1時30分～4時

場 所：ゲストハウスアーバン（気仙沼）

参加者：10 事業所 29 名

令和7年度第2回 日 時：令和7年9月11日(木) 午後1時30分～4時

場 所：(公社)宮城県生活環境事業協会 会議室（仙台）

参加者：19 事業所 32 名



Aテーブル テーマ：電磁式ブロワについて

講 師：フジクリーン株式会社 第一開発部 第三開発課
マネージャー 渡辺 一生 氏

Bテーブル テーマ：ロータリーブロワについて

講 師：東浜商事株式会社 名古屋営業所
係長 二村 徒士 氏
主任 武藤 良太 氏

Cテーブル テーマ：その他ブロワ及び維持管理器具について

講 師：株式会社日環商事 東日本営業部
課長 鎗野 成雅 氏

浄化槽管理業務 超・効率化のチャンス！

浄化槽維持管理・し尿汲取管理システム



すいこでん

水顧電クラウド

水顧電クラウド **5つ** のポイント！

契約情報や
作業予定・実績を
システム上で管理

売上入金情報などの
会計処理も
水顧電で一元管理

作業前の
記録表印刷が
不要

自動で日報作成

クラウド管理のため
現場・事務所共に
いつでも**最新情報**が
参照可能

ただいま特価キャンペーン中！ デモのご依頼お待ちしております！

【お問い合わせはこちらまで】

株式会社 **マイコム**

ビジネスイノベーション部 宛て

電話 : 022-766-9778

メール : mycom_promo@f-com.co.jp



水顧電ホームページ
リニューアルしました！

「浄化槽管理士研修会」を開催しました

今年度の「浄化槽管理士研修会」は、令和7年度も引き続き宮城県及び仙台市から実施機関として当協会が指定を受け、第1回、第2回の研修会を開催しました。

令和7年度第1回、第2回浄化槽管理士研修会

日時・場所：令和7年11月5日（水）仙台市 ホテルクレセント

令和7年11月6日（木）大崎市 古川商工会議所

研 修：浄化槽行政の動向及び県内の法定検査結果について
浄化槽の構造と機能及び浄化槽の保守点検と清掃

講 師：公益財団法人日本環境整備教育センター
情報・ITグループ IT担当チームリーダー
和田 康里 氏

受 講 者：33名（5日）、84名（6日）



第1回浄化槽管理士研修会
(ホテルクレセント)



第2回浄化槽管理士研修会
(古川商工会議所)

なお、第3回研修会は仙台市のホテルクレセントにおいて、第4回研修会は石巻市のマルホンまきあーとテラスにおいて、3月に開催予定です。現在、受付期間中ですので、受講を希望される方はお早めにお申し込みください（1月30日（金）まで）。

また、来年度以降の開催日程等については、詳しい内容が決まりしだい当協会ホームページでお知らせいたします。

「浄化槽清掃技術研修会」を開催しました

当協会では、会員事業所の浄化槽清掃実務に従事する方々等を対象とした研修会を年1回開催しています。

今年度は「浄化槽の清掃作業における労働安全・衛生対策等について」、講師に公益財団法人日本環境整備教育センター調査・研究グループリーダーの 櫛田 陽明 氏 をお招きして、研修を行いました。

維持管理作業における安全確保の重要性や感染症対策等について詳しく解説いただき、参加された皆さまもメモを取るなど熱心に受講されていました。

来年度も開催を予定していますので、ご参加お待ちしております。

日 時：令和7年11月21日（金）午後1時30分～3時30分

場 所：協業組合石巻浄化槽管理センター 会議室

参加者：28事業所57名



◆EVパッカー車の導入について◆

当協会の会員である仙台市の協業組合仙台清掃公社（山田 政彦理事長）において、昨年から、北海道・東北地区では初めてとなるEVパッカー車を導入し、食品廃棄物収集の実証実験を行っています。EVパッカー車は、国内ではまだまだ導入実績が少ないため、今回、この取り組みについてご寄稿いただきました。

皆さまの事業推進の参考にしていただければ幸いです。

持続可能な社会を目指して

～EVパッカー車導入による業界への挑戦と地域貢献～

協業組合仙台清掃公社 理事長 山田 政彦

はじめに

当組合は令和7年3月、北海道・東北地区で先駆けてEVパッカー車を導入し、仙台市の脱炭素先行地域事業である定禅寺通りエリアにおける食品廃棄物収集の実証実験に参画いたしました。

国内においてEVパッカー車の導入実績はまだ少なく、実用データの蓄積が十分ではない状況です。当組合は、この先進的な取り組みを通じて得られる貴重なデータや知見を、車輛メーカーや架装メーカーと共有しながら、いわば「知見的」な運用を行っています。

こうした取り組みは、自社の知見の蓄積だけでなく、今後のEVパッカー車の普及に貢献し、廃棄物処理業界全体の一助となることを願って進めているものです。

1. EVパッカー車導入の背景と使命

仙台市の脱炭素先行地域事業において、定禅寺通りエリアはモデル地区と位置づけられており、当組合は同エリアでの食品廃棄物収集の実証実験へ参画しております。廃棄物処理業界は脱炭素社会への大きな転換期を迎えています。従来のディーゼル車輛からの転換は避けて通れない課題ですが、EVパッカー車は国内での導入事例が少なく、実用データや運用ノウハウが不足しているのが現状です。

当組合は、廃棄物処理という社会インフラを担う企業として、環境の保全と公衆衛生の向上を基本的責務と考えております。循環型社会や脱炭素社会への移行に協力していきたい—この思いが、今回のEVパッカー車導入の原点にあります。



2. 実証実験を通じた「知見的」運用

収集したデータや知見は、当組合だけで独占するのではなく、可能な限り業界内で共有していきたいと考えています。

令和7年6月の充電ステーション稼働開始に合わせて実施した説明会には、地元メディアだけでなく、同業他社からも多くの関心が寄せられました。EVパッカー車の導入を検討している事業者の皆さまに対しては、当組合の経験を惜しみなく共有し、業界全体のEV化推進に貢献していく所存です。

3. 段階的な導入と太陽光発電の活用

当組合では、EVパッカー車に先立ち、令和6年2月にEVアルミバンを導入し、まず軽量車輛での運用経験を積みました。その知見を活かして令和7年7月にEVパッカー車および軽自動車EVを追加導入し、現在4台のEV車輛体制で運用しています。



令和7年6月には、事業所駐車場屋根に太陽光パネル80枚、蓄電池1基、充電器2基を設置した自家消費型充電ステーションを稼働開始いたしました。太陽光発電による充電は、単なるコスト削減策ではなく「発電から走行まで一貫して脱炭素での環境に配慮した廃棄物収集」という理念を実現するための重要な要素です。



4. 今後の展開と決意

現在の4台体制から、段階的にEV車輛を増車していく計画を進めています。実証実験で得られた知見をもとに、より効率的で信頼性の高い運用体制を構築してまいります。

また、太陽光発電設備についても、本社医療倉庫への増設を計画しており、より多くのEV車輛に対応できる充電インフラの拡充を図ります。さらに、蓄電システムの拡張により、停電時の非常用電源としても機能するBCP（事業継続計画）対策の強化にも取り組んでまいります。

おわりに

EVパッカー車の普及は、一朝一夕には実現できません。初期投資の大きさ、充電インフラの整備、運用ノウハウの習得など、多くの課題があります。

しかし、誰かが先陣を切って取り組まなければ、業界全体の進歩はありません。当組合は、東北・宮城の廃棄物処理業界のリーディングカンパニーとして、困難を恐れず挑戦を続ける決意です。

私たちが今、蓄積しているデータやノウハウが、将来的に業界全体の財産となり、EVパッカー車の普及を加速させる一助となることを願っています。

また、持続可能な社会の実現は、一企業だけでは成し遂げられません。行政、排出事業者、市民の皆さまが、それぞれの立場で役割を果たし、協力し合うことで初めて実現できるものです。

会員の皆さま、そして業界の皆さまにおかれましても、当組合の取り組みを今後の参考にしていただければ幸いです。ともに、持続可能な社会の実現に向けて歩んでまいりましょう。

令和7年度上半期の法定検査結果について

1. 法定検査の実施状況および判定状況

法定検査の実施基数および判定内訳を表－1に、市町村別実施基数を表－2に示します。

- ① 第7条検査は、環境省の浄化槽法定検査判定ガイドライン（以下、ガイドラインという）の全チェック項目を確認して実施しています。

実施状況は、当初年間目標基数900基に対し437基を実施しました（当初年間目標基数に対する達成率は、48.6%）。

- ② 第11条検査は、ガイドラインに基づく効率化検査を実施しています。実施状況は、当初年間目標基数69,500基に対し38,413基を実施しました（目標基数に対する達成率は、55.3%）。この内、効率化検査の信頼性確保のために行う全項目検査は、合併処理57基、単独処理2基、合計59基を実施しています。

表－1 法定検査の実施状況および判定内訳

検査区分	処理方式	年度	判定区分						合計	
			適正		おおむね適正		不適正			
			(基)	比率	(基)	比率	(基)	比率	(基)	単独・合併 比率
7条検査	合 併	前年度	426	76.2%	113	20.2%	20	3.6%	559	—
		当年度	346	79.2%	79	18.1%	12	2.7%	437	—
		増 減	△ 80	3.0pt	△ 34	△2.1pt	△ 8	△0.9pt	△ 122	—
11条検査	合 併	前年度	25,113	81.1%	5,526	17.9%	320	1.0%	30,959	79.9%
		当年度	24,888	80.7%	5,588	18.1%	372	1.2%	30,848	80.3%
		増 減	△ 225	△0.4pt	62	0.2pt	52	0.2pt	△ 111	0.6pt
	単 独	前年度	6,461	83.0%	1,168	15.0%	155	2.0%	7,784	20.1%
		当年度	6,118	80.9%	1,260	16.7%	187	2.5%	7,565	19.7%
		増 減	△ 343	△2.1pt	92	1.7pt	32	0.5pt	△ 219	△0.6pt
	合 計	前年度	31,574	81.5%	6,694	17.3%	475	1.2%	38,743	—
		当年度	31,006	80.7%	6,848	17.8%	559	1.5%	38,413	—
		増 減	△ 568	△0.8pt	154	0.5pt	84	0.3pt	△ 330	—

**金沢から
全国、海外に…**

誠意と信頼の
ネットワーク



■取扱商品
 エアーポンプブローワー ガス検知器・送排風機
 電動工具・制御機器・記録紙 水中ポンプ・陸上ポンプ
 配水管清掃機器・薬剤 浄化槽関連部品・FRP補修剤
 給水ポンプ・薬注ポンプ 各種産業用ベルト・ホース
 マンホール・その他
 水質検査器・理化学機器 浄化槽用消毒薬・維持管理

水処理関連機器の総合商社

即答即配システムが当社のモットーです。

 **株式会社 日環商事**

本 社 〒920-0333 石川県金沢市無量寺5丁目75番地
 TEL:076-268-1771(代) FAX:076-267-5348
 FAX専用 フリーダイヤル 0120-617-718
 E-mail:info@nikkan-shoji.co.jp
 http://www.nikkan-shoji.co.jp

四国営業所 〒769-0103 香川県高松市国分寺町福家甲196番地1-101
 TEL:087-813-7621 FAX:0120-617-718

九州営業所 〒812-0861 福岡県福岡市博多区浦田1丁目21号-7
 TEL:092-558-4828 FAX:0120-617-718

表－２ 市町村別実施基数

市町村	7条検査	11条検査	市町村	7条検査	11条検査
仙 台 市	21	2,012	加 美 町	6	1,165
石 巻 市	69	5,167	色 麻 町	0	447
東松島市	6	859	涌 谷 町	1	11
女 川 町	0	30	美 里 町	6	15
塩 竈 市	0	0	登 米 市	34	4,643
多賀城市	0	1	栗 原 市	40	336
七ヶ浜町	0	0	気仙沼市	73	9,007
松 島 町	4	2	南三陸町	8	2,488
利 府 町	5	3	白 石 市	9	31
名 取 市	9	872	角 田 市	11	1,337
岩 沼 市	5	409	大河原町	0	43
亘 理 町	8	905	柴 田 町	4	705
山 元 町	9	416	丸 森 町	5	1,009
富 谷 市	2	2	村 田 町	6	9
大 和 町	5	0	川 崎 町	6	740
大 郷 町	10	787	蔵 王 町	11	37
大 衡 村	8	0	七ヶ宿町	0	26
大 崎 市	56	4,899	合 計	437	38,413

2. 不適正の事例内訳

ガイドラインの外観検査、水質検査、書類検査のチェック項目のうち、不適正事項の内訳を表－３に示します。

- ① 第7条検査の「不適正」事項の合計21件中、外観検査項目が13件、水質検査が7件、書類検査項目が1件となっています。
- ② 第11条検査の「不適正」事項の合計945件中、外観検査が544件、水質検査が286件、書類検査が115件となっています。単独処理の外観検査のチェック項目「03 破損又は変形の状況」の4件と、「04 漏水の状況」の67件を合わせた合計71件は、『市町村が「特定既存単独処理浄化槽」と判定する際の重要項目に該当しています。』を検査結果書に記載し、写真を添付して報告しています。



ISUZU

もっと走れる 明日のために。

事故も、疲労も、故障も、未然に防いでいく。
この理想を目指し、新型ギガは生まれました。
「運ぶ」という輸送企業のビジネスにおいて、
トラックに想定される様々なリスクを、
先進の装備やテクノロジーで早期に回避、低減し
より確かな安心を生み出します。
新型ギガなら、もっと走れる。いすゞとなら、もっと走れる。
もっと走れる未来がある。
お客様のビジネスがもっと輝く明日を切り拓きます。

NEW GIGA

いすゞ自動車東北株式会社

本社 仙台市宮城野区中野四丁目10番地の14
http://www.isuzu-tohoku.co.jp/ (代表) 022-786-6311

仙台支店 仙台市宮城野区中野四丁目10番地の14
(営業部) 022-786-6318 (サービスセンター) 022-786-6320

表－３ 不適正事項の内訳

【外観検査項目】		7条検査	11条検査		
小項目	チェック項目	合併処理	合併処理	単独処理	合計
槽の水平、浮上又は沈下 破損又は変形の状況	02 浮上又は沈下の状況			1	1
	03 破損又は変形の状況			4	4
漏水の状況	04 漏水の状況	1	26	67	93
	05 溢流の状況		10	2	12
槽上部の状況	07 嵩上げの状況		16		16
	08 浄化槽上部及び周辺の利用又は構造上の状況		7	28	35
雨水、土砂等の槽内への 流入状況	09 雨水の流入状況			1	1
	10 土砂の流入状況		6	5	11
	11 その他の特殊な排水の流入状況	1	2		2
内部設備の固定状況	14 接触材、ろ材、担体等の固定及び保持状況		13		13
	15 ばっ気装置の固定状況	1	1		1
	17 汚泥返送装置及び汚泥移送装置の固定状況		1		1
	18 循環装置の固定状況	1			
	22 越流せきの固定状況		10	3	13
	23 隔壁、仕切板及び移流管(口)の固定状況		6	4	10
	24 その他の内部設備の固定状況			1	1
設置に係るその他に状況	26 流入管渠及び放流管渠の設置状況	2	28	6	34
	27 送風機の設置状況		5		5
ポンプ、送風機及び駆動装 置の稼働状況	29 ポンプの稼働状況		10	1	11
ばっ気装置及びかくはん装 置の稼働状況	32 ばっ気装置の稼働状況		41		41
生物膜又は活性汚泥の状況	40 生物膜の状況		9	16	25
各単位装置内の水位及び 水流の状況	49 嫌気ろ床槽の水位の状況		5		5
	50 ばっ気槽の水位及び水流の状況		4		4
	51 接触ばっ気槽の水位及び水流		1	1	2
	52 生物ろ過槽、担体流動槽の水位及び水流の状況		20		20
	54 沈殿槽の水位及び水流の状況		4	2	6
汚泥の堆積状況及びスカ ムの生成状況	61 沈殿槽の汚泥の堆積状況又はスカムの生成状況		2	5	7
	62 消毒槽の汚泥の堆積状況又はスカムの生成状況	2	6	9	15
水の流れ方に係るその他 の状況	66 汚泥の流出状況	5	16	26	42
特殊な排水等の流入状況	67 油脂類の流入状況		18		18
	68 処理対象以外の排水の流入状況		3	1	4
消毒の実施状況	73 消毒剤の有無		74	13	87
	74 処理水と消毒剤の接触状況		3	1	4
小計		13	347	197	544

【水質検査項目】		7条検査	11条検査		
	チェック項目	合併処理	合併処理	単独処理	合計
	残留塩素濃度不可		46	15	61
	透視度不可かつBOD不可	5	124	4	128
	透視度不可かつBOD160mg/L超	2	45	52	97
小計		7	215	71	286

【書類検査項目】		7条検査	11条検査		
	チェック項目	合併処理	合併処理	単独処理	合計
保守点検記録	①記録の有無(管理なし)	1			
	②保守点検の回数(法令以下)		97	18	115
小計		1	97	18	115

合計	21	659	286	945
----	----	-----	-----	-----

※指摘事項は重複することもあるため、不適正基数とは一致しない。

※該当するものがなかったチェック項目は記載していない。

わざ
技が奏でる調べに敏感。



研究技術開発の
新領域をクリエイト

You need it, We create it.

—営業品目—

試験機器・計測機器・測定機器・分析装置
解析装置・理化学機器・研究/開発設備・真空装置/部品

—自社製品—

Personal VSM/磁気抵抗・磁歪・透磁率測定装置/磁場中熱処理装置
スパッタ/蒸着/CVD/単結晶育成装置/アーク溶解炉/熱処理装置/急冷凝固装置

TECHNOLOGY COMMUNICATION
株式会社 東栄科学産業

〒982-0032 仙台市太白区富沢4丁目8番29号
TEL 022(743)3221 FAX 022(743)3235

営業所：郡山・いわき・会津・宇都宮・盛岡・山形・名取工場
URL：<http://www.toei-tc.co.jp>

浄化槽法定検査判定ガイドラインについて(第2回)

～ガイドラインに基づいた外観検査項目のチェック項目の確認方法について～

1. はじめに

会報第31号では、浄化槽法定検査判定ガイドライン（以下、ガイドライン）の概要と判定方法について解説しました。今号は、ガイドラインの外観検査、水質検査、書類検査のうち、外観検査の「1.設置状況」の項目についてご説明します。

2. 外観検査項目について

外観検査は「1.設置状況」、「2.設備の稼働状況」、「3.水の流れ方の状況」、「4.使用の状況」、「5.悪臭の発生状況」、「6.消毒の実施状況」、「7.か、はえ等の発生状況」の7つの項目がガイドラインで定められています。当検査センターの検査結果書（図－1）の、外観検査項目欄に7つの項目名を表示し、判断欄に良・可・不可を、異常事例は所見欄に印字しています。

総合判定		不 適 正					
外観検査項目	判断	水質検査項目		判断	過去の水質検査結果		
					2024.08.23	2023.08.24	2022.08.08
1. 設置状況	不可	pH	7.2	良	7.0	5.8	4.3
2. 設備の稼働状況	良	溶存酸素量	8.3 mg/L	良	4.6 mg/L	6.9 mg/L	7.1 mg/L
3. 水の流れ方の状況	良	残留塩素濃度	1.0 mg/L	良	0.6 mg/L	1.3 mg/L	1.3 mg/L
4. 使用の状況	良	透視度	50.0 度	良	50.0 度	50.0 度	50.0 度
5. 悪臭の発生状況	良	BOD	1.7 mg/L	良	1.5 mg/L	1.1 mg/L	2.3 mg/L
6. 消毒の実施状況	良						
7. か、はえ等の発生状況	良						
前回指摘の項目の状況	有						
		書類検査項目		判断	保守点検業者・清掃業者		
		保守点検の実施状況	年 12 回	良	(協業) アクアネット		
		清掃の実施状況	2024.09.05	良	(協業) アクアネット		
所見	台所の排水管が接続されていません。						

図－1 検査結果書の一部抜粋

3. 「1.設置状況」について

外観検査の「1.設置状況」には28のチェック項目があり、第7条検査と第11条検査において「不適正」となる条件を表-1に示します。

第7条検査は初回の検査であることから、浄化槽の工事が適切に行われているか、装置の調整等が適切に行えるか等を重視した検査となります。このため、第7条検査は「不適正」となる条件において、不可の場合をもって「不適正」(表-1の◎)と判定されます。

一方で定期検査である第11条検査は、保守点検及び清掃が適切に行われているか、浄化槽の機能が正常に維持されているかを重視した検査となります。よって、不適正となる条件は、チェック項目が不可のみの場合(表-1の◎)と、水質検査(BODと透視度が共に不可)の内容を加味して判定する事例の場合(表-1の○)の2通りの判定基準があります。

走るほどに、使うほどに、三菱ふそうの真価。



シートベルトをして、地球にやさしいエコドライブを。

 **FUSO**

三菱ふそうトラック・バス株式会社
www.mitsubishi-fuso.com

三菱ふそうトラック・バス株式会社 東北ふそう

maruki

水質測定器・理化学器械
分析機器・工業薬品・試薬

株式会社マルキ

〒984-0806 宮城県仙台市若林区舟丁1番地
TEL.022-227-1595 FAX.022-221-6090

表ー 1 「1.設置状況」の28のチェック項目と不適正となる条件

小項目	チェック項目	7条検査	11条検査
		「不適正」の条件	
槽の水平、浮上又は沈下破損又は変形等の状況	01 水平の状況	◎	◎
	02 浮上又は沈下の状況	◎	◎
	03 破損又は変形の状況	◎	◎
漏水の状況	04 漏水の確認	◎	◎
	05 溢流の状況	◎	◎
浄化槽上部の状況	06 上部スラブの打設の有無		
	07 嵩上げの状況	◎	○
	08 浄化槽上部及び周辺の利用又は構造の状況	◎	◎
雨水、土砂等の槽内への流入状況	09 雨水の流入状況	◎	◎
	10 土砂の流入状況	◎	◎
	11 その他の特殊な排水の流入状況	◎	◎
内部設備の固定状況	12 スクリーン設備の固定状況		
	13 ポンプ設備の固定状況	◎	◎
	14 接触材、ろ材、担体等の固定及び保持状況	◎	◎
			○
	15 ばっ気装置の固定状況	◎	○
	16 かくはん装置の固定状況	◎	○
	17 汚泥返送装置及び汚泥移送装置の固定状況	◎	○
	18 循環装置の固定状況	◎	○
	19 逆洗装置及び洗浄装置の固定状況	◎	○
	20 膜モジュールの固定状況	◎	○
	21 消毒設備の固定状況	◎	◎
	22 越流せきの固定状況	◎	○
	23 隔壁、仕切板及び移流管(口)の固定状況	◎	◎
			○
	24 その他の内部設備の固定状況	◎	○
設置に係るその他の状況	25 設置場所の状況		
	26 流入管渠及び放流管渠の設置状況	◎	◎
			○
	27 送風機の設置状況	◎	◎
	28 増改築等の状況	◎	○

※事例が不可のみで「不適正」は◎、第11条は事例内容によりBODと透視度が共に不可で「不適正」と判断する○もあります。

4. 法定検査時の確認

「1.設置状況」はガイドラインの判断方法の重要度が高いことから、効率化検査においても28のチェック項目の全てを確認しています。

事例の多くは浄化槽の施工不良、地震や土圧による破損、変形、固定の不良等です。現場では、設置時(所期)の状況を維持しているか、破損箇所等が修理、修繕されているかを目視や前年度検査時の写真等で確認します。また、令和6年度から、事例のみで「不適正」と判定されるチェック項目(表-1の◎)では写真を検査結果書に添付し、市町村が改善指導に活用しやすいように変更しました。

5. おわりに

「1.設置状況」のチェック項目のうち「07 嵩上げの状況」や「26 流入管渠及び放流管渠の設置状況」等の工事に起因する異常事例は、初年度に改善されない場合、次回以降の第11条検査で指摘が継続することとなり、工事業者による瑕疵を保守点検業者の責任で管理し続けなければならないという課題があります。このため、協会の浄化槽部会のご意見も参考とし、令和6年度より、浄化槽工事が原因の不適正事例は、初年度に改善いただける様に、第7条検査の検査結果書の備考欄に、「*工事に起因する内容の改善については、浄化槽工事業者へご相談ください。」と記載しています。なお、市町村が『特定既存単独処理浄化槽』を判断する指針において、「1.設置状況」の不可は最も重要な項目となっています。

また、合併処理浄化槽においては経年劣化や地震による破損等の指摘も増加しています。環境省より、「浄化槽長寿命化計画策定ガイドライン」の第2版が令和4年4月に発出され、市町村が定める浄化槽長寿命化計画等に基づく浄化槽の改築・更新事業は、環境省の交付金対象事業となっています。破損箇所等が軽微であっても早期に修理、修繕を行うことは重要と考えられますので、法定検査結果書を活用し、浄化槽管理者への説明につながれば幸いです。

次号では、外観検査の「2.設備の稼働状況」について解説する予定です。

【参考】

「浄化槽法定検査判定ガイドライン」



「浄化槽長寿命化計画策定ガイドライン」



多戸一敏

ソーショー
Sooshō

企画制作
Haramishi Kazuo-shi

tel 022-743-7365 fax 022-743-7366

看板広告
チラシ
Dダイレクトメール
カタログ
パンフ
内装・ウィンドウ
イベント設営
展示装飾
新聞広告
カレンダー
ノベルティ

特定既存単独処理浄化槽への対応について

令和7年4月1日から浄化槽法施行規則の一部を改正する省令が施行され、第11条検査結果書に『特定既存単独処理浄化槽に該当するおそれの有無』を記載することが新たに追加されました。

また、市町村が『特定既存単独処理浄化槽』と判断する際の指針も改定されました。このことに対応するため、令和7年11月11日に開催された浄化槽法定検査委員会において、『特定既存単独処理浄化槽』の判定方法、および検査結果書の記載内容の変更についてご審議いただきましたのでその結果をお知らせします。

指針の改定により、槽本体の漏水や著しい破損以外の事例の組み合わせ（処理機能に影響する外観の異常と水質項目等が共に不可と判断された場合）についても新たに『特別既存単独処理浄化槽』と定義されることになりましたが、当県では第11条検査の総合判定が「不適正」の場合のみこれを適用することになりました。

令和8年度から「特定既存単独処理浄化槽のおそれ有」と判定された単独処理浄化槽は、第11条検査結果書にその旨を記載し、市町村に報告することとなります。



槽本体から漏水の写真



槽本体が著しく破損の写真

○「特定既存単独処理浄化槽のおそれ有」の検査結果書の記載例は以下のとおりです

〈令和8年4月1日から〉

所見	槽本体から漏水しています。※ 点検口の蓋が著しく破損しています。早急に交換する等の安全対策が必要です。
備考	特定既存単独処理浄化槽に該当するおそれがあります。（※が該当する所見です。）

特定既存単独処理浄化槽とは…そのまま放置すれば生活環境の保全及び公衆衛生上重大な支障が生ずるおそれのある状態にあると認められる既存単独処理浄化槽。

浄化槽設備士研修会(宮城会場)開催のご案内

浄化槽設備士の技術の向上と浄化槽の適正な施工による信頼向上をはかるために開催されている、「浄化槽設備士研修会」が今年度も宮城県会場で開催されます。

申し込み方法等の詳しい内容は当協会のホームページをご覧ください。

【共催】

公益財団法人日本環境整備教育センター
一般社団法人全国浄化槽団体連合会
全国管工事業協同組合連合会

【開催目的】

近年、社会的な要請から、浄化槽の処理性能の向上、コンパクト化に伴う施工技術の高度化が進み、浄化槽の設備工事を実地に監督する浄化槽設備士は、新たな技術の習得や浄化槽工事における安全対策等を踏まえた知識の習得が必要となっています。

これを踏まえ、浄化槽設備士の技術の向上を目的とする研修を行い、浄化槽に対する信頼向上を目指すものです。

【開催日時】

令和8年3月19日(木) 10時45分から16時10分(予定)

【会場】

ホテル白萩 仙台市青葉区錦町2-2-19 TEL 022(265)3411

【プログラム】

10:45	開会
11:00～12:00	浄化槽設計施工
13:00～14:45	浄化槽設計施工
15:00～16:00	浄化槽工事の安全対策
16:10	閉会

【受講料】

5,000円(テキスト代を含む)

会員情報

※前号掲載分以降、令和7年12月末までの情報です。

代表者変更 (日付はいずれも協会受付日)

日付	会員	事業所名	代表者名		住所
8/25	正会員	(有)桃生衛生社	新	今野 聡	〒986-0312 石巻市桃生町城内字東嶺14
			旧	今野 孝	

社名変更

日付	会員	事業所名	代表者名		住所
10/1	正会員	新 フジクリーン(株)東北支店	古賀 正則		〒980-0803 仙台市青葉区国分町1丁目6-9 MIテラス仙台広瀬通り2階
		旧 フジクリーン工業(株)東北支店			

事務所移転

日付	会員	事業所名	代表者名		住所
11/10	賛助会員	(株)マイコム	瓜生 利典		新 〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡2丁目4-22 仙台東口ビル7階 TEL:022-766-9778 FAX:022-791-1367
					旧 〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡4丁目5-15 TEL:022-766-9778 FAX:022-791-1367

お悔やみ

当協会会員 株式会社遠田衛生 代表取締役 川崎 忠 様 (享年88)におかれましては、令和7年12月17日にご逝去されました。
ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



今後の行事予定

- 1月16日(金) 令和8年新春セミナー・賀詞交歓会(会場：仙台市 ホテル白萩)
- 2月17日(火) 令和7年度第1回浄化槽維持管理技術研修会(会場：気仙沼市 ゲストハウスアーバン)
- 2月18日(水) 令和7年度第2回浄化槽維持管理技術研修会(会場：協会会議室)
- 3月4日(水) 令和7年度第3回浄化槽管理士研修会(会場：仙台市 ホテルクレセント)
- 3月5日(木) 令和7年度第4回浄化槽管理士研修会(会場：石巻市 マルホンまきあーとテラス)
- 3月10日(火) 令和7年度第3回三役会(会場：協会役員室)
- 3月18日(水) 令和7年度第3回定期理事会(会場：協会会議室)
- 3月19日(木) 令和7年度浄化槽設備士研修会(会場：仙台市 ホテル白萩)
- 6月19日(金) 第18回社員総会<予定>

新職員のご紹介

浄化槽法定検査センター

検査部検査第2課 技師 花輪 貴子

12月1日から正職員となりました。
よろしくお祈いします。



皆様はじめまして、令和7年12月1日より公益社団法人宮城県生活環境事業協会浄化槽法定検査センターに勤務させていただくことになりました、花輪貴子と申します。趣味は、ドライブ、釣り、音楽鑑賞等です。前職では、金融関係の仕事をしておりました。異なる業種ではありますが、前職での経験を活かしつつ、検査員として日々の業務に励みたいと考えております。

現在は、検査助手として先輩方からご指導をいただいております。正確な検査を行うためにも幅広い知識を身に付け、現場で実践していけるように努力して参ります。

一日でも早く、皆様のお役に立てるよう努めていきたいと思っておりますので、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

第62回宮城県芸術祭（会場：せんだいメディアテークほか）が下記のとおり開催され、書道部門において、当協会浄化槽法定検査センターの吉田恵也次長が、最高賞である「宮城県芸術祭賞」を受賞しました。

第62回 宮城県芸術祭

書道展

受賞	受賞者氏名	受賞作品名
宮城県芸術祭賞	吉田 恵也	エボリューションⅠ
宮城県知事賞	菅野 真希	あきぎめと... (三十六歌仙)
仙台市長賞	鈴木 真月	謝海夷誌
河北新報社賞	佐藤 優子	明徳堂の詩
宮城県教育委員会教育長賞	浅野 彩紅	秋思
宮城県教育委員会教育長特別賞	伊藤 雄登	嘉應院・清涼殿
宮城県教育委員会教育長特別賞	海上 敦子	気遣
仙台市教育委員会教育長賞	郷右近 芳仙	高貴邸
宮城県議会議員賞	齋藤 雅貴	辻征夫の詩「金話」
仙台市議会議員賞	木村 和祐	鮎三吉「原爆詩集」序
(公財)宮城県文化振興財団賞	太田 栄美子	山村暮鳥の詩「自分はいまこそ賞はう」
(公財)宮城県文化振興財団賞	小野寺 京祐	北乃兼心「気風の情景」
(公財)宮城県文化振興財団賞	鈴木 東風	社市詩
(公財)仙台市市民文化事業団賞	門真 崇順	社市詩
門田勝太郎賞	佐藤 玄風	寛政得衆
宮城県芸術祭奨励賞	石田 蒼龍	夏目漱石詩二首
宮城県芸術祭奨励賞	伊勢 扶香	伊東野庵の詩「遠懐」より
宮城県芸術祭奨励賞	金沢 泉明	祭
宮城県芸術祭奨励賞	後藤 翠蓮	謝海夷誌
宮城県芸術祭奨励賞	内戸 青蓮	謝海夷誌
宮城県芸術祭奨励賞	都築 節子	櫻光利一の詩「海」

当協会職員が
「宮城県芸術祭賞」を

受賞しました！



宮城県芸術祭賞

吉田 恵也

出品作は、これまで毎日書道展や河北書道展等に出品した作風からの発展形という意味で「エボリューションⅠ」と題し、イメージは円空が残した木彫りの仏像や神像のような立体的な造形を、筆と紙で表現したいと思い制作しました。（吉田）